

2014年度 第1回三重県聴覚障害者支援センター評価委員会 会議録

1. 会議等の名称 2014年度第1回三重県聴覚障害者支援センター評価委員会
2. 開催日時 平成26年7月8日(火) 19:00~21:00
3. 開催場所 三重県聴覚障害者支援センター 研修室・ボランティア作業室

4. 出席者

(1) 委員

佐藤 俊通(委員長)
三浦 正敏(副委員長)
山崎 靖子(委員)
横山 慶(委員)

欠席者

西尾 恵子(委員)
脇田 愉司(委員)

(2) 三重県聴覚障害者支援センター

深川 誠子(指定管理者 三重県聴覚障害者 会長)
倉野 直紀(指定管理者 三重県聴覚障害者 事務局長)
山本 喜秀(センター長 支援課、ライブラリー課責任者)
那須 万美子(派遣課責任者)
加藤 恵美(養成課責任者)
田代 慶藏(相談事業担当者)
矢野 玲子(要約筆記者)
岡田 敦子(指定管理者 三重県聴覚障害者協会 職員) ※記録担当

5. 協議事項

開催にあたり、深川会長より挨拶。

「今年は指定管理期間の最後の年。利用者、登録者も増えつつあり、センターも知られるようになってきた。3年間の成果が出せるよう努力したい。改善のためぜひご意見を。」

(1) 三重県聴覚障害者支援センター 平成26年度業務報告の検証、質疑応答

1) 評価委員会から事前に受けた質問に順次回答(資料参照、資料以外のことを)

①その他(運営委員会の開催が未実施だったことについて)

班会議に留まってしまった。26年度は実施するようにする。

②今後の団体派遣等の予算について

【意見】全国大会や集会がある。指定管理料決定後に、開催が決定した場合も予算要求できるのか。

【回答】県に確認する。

③施設名で、Google、Yahoo!の検索に引っかからないことについて。

【意見】ホームページの異常ではない。検索サイトへの問い合わせが必要。

【回答】確認する。

2) 四半期報告と年間報告についてセンター長から説明した。

①字幕映像ライブラリー制作・貸出事業

聾学校での出前ライブラリーは好評。今後も継続する。

【訂正】平成 25 年度業務報告 2 ページ下から 7 行目

誤 2014 年 5 月修理 → 正 2013 年 5 月

【意見】自主制作作品は、手話関連が多い。難聴や要約筆記に関する内容（例：機材の扱い方、日常生活用具の紹介等）の制作も検討してほしい。

【回答】難聴者の要望も取り入れていきたい。

③手話通訳者・要約筆記者派遣事業

市町からの委託が減少傾向。地域の利用者の高齢化が主な原因と思われる。

【意見】委託市町には設置通訳者がいない。制度について十分理解されているか心配。使いやすくするための働きかけが必要。

【回答】市町に派遣制度に関するパンフレットを配布した。契約時に再度確認する。

⑦各種相談の実施

相談の内容が幅広くなってきた。訪問して相談するケースもある。

外部の専門家とのパイプ作りを充実させ、つなげていきたい。

【意見】専門家の相談員とのネットワーク作りは、いい取組み。今後も委員会で報告をお願いしたい。

⑧生活訓練の実施

4 期に集中して開催した。

平成 26 年度は難聴者のための手話教室を開催することにした。

【意見】参加者が内容を忘れないためには、一定期間に集中して開催するのはいいと思う。ただし広報をもっと早くしてほしい。

【回答】早めに計画を立て、開催したい。

⑪災害発生時における被災者支援

サポーターの登録者数 130 名（手話通訳者 要約筆記者 ろう者、難聴者、その他）

【意見】伊勢市との打合せ内容について。情報提供を行い、県内に周知しネットワークを広げてほしい。

【回答】今後、鳥羽市、志摩市についても話し合いを計画中。

⑬達成目標（登録者数について）

支援者も含めることとした。

【意見】目標値が高すぎる。次の契約時には実現可能な数値で交渉するとよい。

○その他

【意見】前年度の数値がほしい。

3. 収支計画

【質問】委託事業の期ごとの変動が大きい理由は何か。

【回答】1期はまだ事業が始まったばかりのため、支払いも少額。

【質問】自主事業の収入の部の市町派遣事業で、変動が大きい理由は何か。

【回答】1期に収入が多いのは、市町からの受託金が入るため。4期では未収金を催促している。

(2) 外部評価委員の選出方法について

司会を三聴障協の倉野に交代。

募集したが応募がなく、前任者に紹介を依頼中。またセンターホームページでも募集したい。

心当たりの人があれば、紹介してほしい。

評価委員設置要綱6条により謝金を支払うため、基本的に県の職員は委員になれない。県に確認する。外部委員決定後、第1回目の委員会は、8月頃を予定。

【意見】県教委と知事部局の職員とは扱いが違うので確認したほうがよい。

【回答】県に確認する。

(3) 評価委員会の役割、スケジュールについて

委員長は、業務報告書を元に委員から意見を募集し、まとめ、事前質問として提出する。

また、会議の進行も担う。副委員長は委員長欠席時に代役を務める。

評価委員は、評価書を作成し三聴障協に提出する。

外部委員以外の委員が確定してから、委員長・副委員長を選出する。

新委員でメーリングリストを作り、情報共有していく。

評価委員は、センターホームページにて名前を公表する。

(4) その他

委員より挨拶。

以 上